

すくすくおもちゃだより 8月



逆瀬川あゆみ保育園 子育て支援すくすく 本号由香

2026.8.6

地階すくすくルームには、0～3歳頃のお子さんの発達に合わせた玩具を、沢山取り揃えています。今年度はこのおたよりにて、すくすくで人気の玩具の一部、紹介していきます。また私事ですが、東京おもちゃ美術館の『おもちゃコンサルタント』の資格を取得しましたので、その際に学んだ事（聞いた話）をひとことコラムとして少しお伝えしたいと思います。



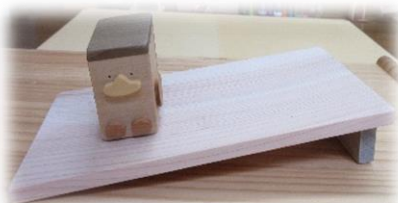
クーゲルバーンとシップ

船の方から玉を入れると、道を通り最後に「チリン！」と鈴がなります。玉が大きいので、口に玩具を入れる小さなお子さんでも安心です。玉の転がる様子を楽しんだり、透明の玉を手を持ち、嬉しそうに眺めたり…とても人気のある玩具です。少し木の通り道がズレると玉が落ちるのも「あれ～？」といいながら楽しむ姿もあります。



注意と動きの予測をさせるトラッカー

プラスチックの軽いボールをレーンに乗せて、転がるのを楽しむ玩具です。ボールが気に入って、手に持ち歩く子や、レーンを転がるボールを途中から掴もうとする子もいます。玩具名は何とも固いですが、とにかく気軽に楽しめる玩具で、ボールを入れる所が丸い穴になっているので、入れやすさもあるようです。



トコトコ人形

あひるの人形が、斜めの木の板の上をトコトコと歩きます。あひるの顔がとても可愛く、癒しになります。（大人の方がはまる顔のようです♪）トコトコと同じリズムで歩く姿もホッとしますが、最後に歩き終わりにポテッと倒れる姿も何とも可愛いです。木の板が広いので、乗せやすいのも良いな、と思います。

ひとことコラム ～『カプラ』という積み木について～

今月はフランスの玩具「カプラ」について。皆さんカプラはご存じですか？あまり聞きなれないかもしれませんが、カプラは日本で最も売れている積み木だそうです。カプラが大事にしているのは“音”です。積み木というのは、崩すと大きな音がするのが、マイナスのイメージだったのが、このカプラは崩れる音さえ美しく、衝撃の出来事だったそうです。木の素材は松で、ニースの海岸線沿いの希少な松の木を使っているとの事。海岸線沿いだと、素材がやわらかいそうです。明治からスタートした積み木は、○△□が必要という考えでしたが、カプラを通して、形は1つでもOK！崩してもOK！と、積み木の概念を変えるきっかけにもなったようです。なかなか目にする機会がないかもしれませんが、軽くてしっとりした感触で、お勧めの玩具です。（個人的にも大好きな玩具です。）

★対象年齢はとても幅広く、10ヵ月～101歳となっています！

*すくすくルームにも、仲間入りしましたので、是非触ってみて下さいね。

